

Title	十月号正誤表
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1928
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.22, No.11 (1928. 11)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19281101-0157

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

いて著者は『これは必ずしも經濟生活に於ける行為の本則に限らない。』ことを認めてゐるにも係らず、『經濟本則は經濟生活に於て最も明に有効に作用する。……經濟本則を其のまゝの名稱で稱びつゞけることは、その過去の久しい閱歴以上の理由ありと考へることが出来る。』(一七一八)となすが如き、或は欲望を經濟生活の素材の中心に置かれる『財を財たらしめる心理的要素』(一三四)と認めつゝ、『經濟生活は欲望にはじまつてその満足に終る。』(一三五)ものとして説き來る欲望論乃至價值論の如きは、本書に依つて十分に窺知することの出来ない著者の方法論上の見解と共に不審の點を残し、更に又收益遞減の法則は之を斷然斥け去るとはいへ、その半面たる費用遞増の法則の性質を全然不問に附したるは、之を『經濟的考察の目的となる心理法則』たる効用遞減の法則に對立せしむる以上猶ほ攻究に價すべきものではあるまいか。

寔に著者が本書に於いて企てた所は、傳統的觀念を全然脱出することが出来なかつたと同時に新機軸に徹底することも亦不可能に終つたものと云ふべく、而も本書存在の理由たるや又實に此の點に於て多少の暗示を經濟學上に齎らしたるの一事に發見することが出来よう。只『本書は初學者の爲の經濟學入門の書である。』(序)が故に、之に依つて著者の深奥なる見解の全てを忖度することは許されぬであらう。單に『經濟學入門の書』と見る時、徒らに抽象的言辭のみを弄せず、須要なる經濟上の知識を洩らすことなく按配して懇切平明なる記述を惜しまざりし點、正に數多き經濟原論の著述中最も好ましいもの、一として推すに憚なく、殊に價格理論の解説は初學者の理解を助くること少くあるまい。惜むらくは術語に併記せられてゐる外國語(英獨佛)が統一を欠き、又殆ど全く参考書を擧げてゐない様な缺陷を免れなかつたが、殊に後者の如きは實に初學者に對して不忠なるのみに止まるまいと思ふ。(菊版五三〇頁四圓三十錢昭和三年六月東京啓明社發行)

十月號 正誤表

誤		正	
八九頁	十二行目	素材無視	素材重視
一七六頁	十二—十三行目	に於て、不要を説き、に於て、價值論の經濟學を	に於て價值論の不要を説き、經濟學を
一七八頁	十三行目	リカドオ	リカアドオ
一八〇頁	十一行目	J. Wietzel	H. Dietzel
一八四頁	二行目	オフユリミテ	オフエリミテ
一八五頁	十三行目	q ^a . q ^b . q ^c .	q ^a . q ^b . q ^c .
二〇〇頁	三行目	より獨立に、 β に變ずる	より獨立に、 β を變ずる
二〇六頁	九行目	反復的なるである。	反復的なる行動である。
二〇九頁	十五行目	二疋のパン	二疋のパン
二一一頁	四行目	指數は、より β へ	指數は、より β へ
二二八頁	六行目	R. Courtin	R. Courtin